

住宅の広さと住宅用分電盤の回路数

内線規程205節等を参考にした望ましい分岐回路数の表です。

■ α : 厨房用大型機器、ルームエアコン、衣類の乾燥機などの設置数により増加させる分岐回路数(200Vの分岐回路を含む)を表わします。

住宅の面積	分岐回路数 計	電灯用	一般コンセント用	
			台所用	台所用以外
50㎡(15坪)以下	4+ α	1	2	1
70㎡(20坪) //	5+ α	1	2	2
100㎡(30坪) //	6+ α	2	2	2
130㎡(40坪) //	8+ α	2	2	4
170㎡(50坪) //	10+ α	3	2	5
170㎡(50坪)以上	11+ α 以上	3以上	2	6

中性極2ねじJIS互換性形漏電遮断器

電気設備技術基準・内線規程の改正及び、JIS規格の改正にともないJIS互換性形漏電遮断器の中性極端子を1ねじから2ねじに仕様変更しました。

内線規程の改正内容

151節 漏電遮断器など

(備考)住宅用分電盤に使用する単3中性線欠相保護付互換性形漏電遮断器の中性線端子構造は、押し2本ねじとする。

(注意)中性線端子構造はJIS C8371(漏電遮断器)の改正後、供給体制等が整備されるまでの当分の間1本ねじを使用してもよい。

■ JIS互換性形漏電遮断器を組込んでいる住宅用分電盤は全て中性極2ねじ品のJIS互換性形漏電遮断器に変更になります。

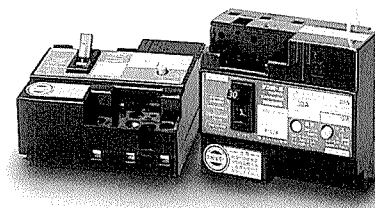
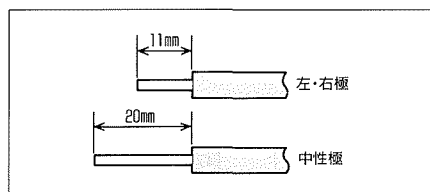
(外形寸法の変更はありませんので、住宅用分電盤の型式、価格の変更はありません。)

■ 対象器種

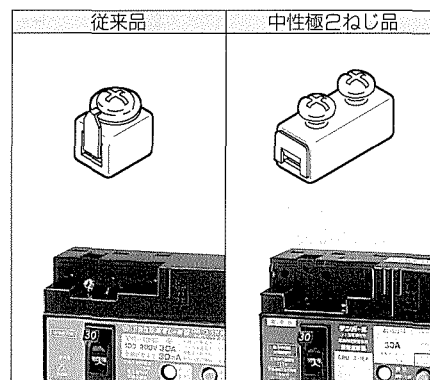
主幹30A(OC付、OCなし)の住宅用分電盤全器種が対象となります。

(JIS互換性形漏電遮断器 組込分)

■ 電線ストリップ寸法が現行品とは異なりますのでご注意ください。(遮断器にあるストリップゲージを参照)



■ 端子奥まで電線を差し込み2本の端子ねじを交互に2回以上確実に締付けてください。(締付トルク150~200Ncm)



住宅用分電盤

施工及び取扱い上のご注意

■ 漏電遮断器はなるべく月1回程度試験ボタンを押して動作を確認してください。

■ 分電盤は、操作しやすい、露出して乾燥した場所にお取付けください。戸棚の内部、便所の内部、浴室などには取付けないでください。(内規155-1)

■ 台所・浴室などの高温多湿になる可能性のある場所、粉塵、腐食性ガス、振動衝撃などがある環境でのご使用は避けてください。

■ ブレーカなど内部機器を取付けたままでの施工、工事は塵埃が機器内に入る可能性があります。内部機器を取外すか、適当なカバーをかけて施工してください。

■ 単相3線式分電盤の分岐、200V回路には、必ず2P2E 100/200V用(B-2E型またはB-2H型)をご使用ください。

■ 工事終了後、必ず端子ねじを増締めしてください。

内線規程(JEAC 8001-1990)追補版 151-1 漏電遮断器などの取付け 22. 住宅の電路には、漏電遮断器を施設することを原則とする。

■ 内線規程で住宅の電路には漏電遮断器の取付けが原則になりました。漏電遮断器が組込まれていない分電盤を住宅の電路にご使用される場合、別途主幹又は分岐回路に漏電遮断器を取付けてください。

